Bridge

東北電力社誌｜ブリッジ｜

1993 4
Vol.393

グラビア　平成5年度入社式
今月の特集　ルポ・原子燃料サイクル施設



よ・う・こ・そ

フレッシュな仲間たち

失うな！夢と情熱



みなさん、新しい仲間たちをよろしく

●入社式の詳細はマンスリーニュースをご覧ください。



▼辞令交付の後，激励の言葉を述べる明間社長。



▲各店所の代表者に明間社長から辞令が手渡された。



▲先輩社員を代表して，宮城支店営業・配電部の寺[illegible]菜百子さんが歓迎の言葉を述べた。



▲新入社員を代表して仙台技術センター制御所に配属された武田　直（たかし）さんが力強く誓いの言葉を述べた。



▲夢と希望に胸をふくらませて，462名はそれぞれの職場へと向かった。

東北電力社誌 Bridge
CONTENTS 1993-4
Number 393

グラビア
平成５年度入社式

4 特集 ルポ 原子燃料サイクル施設
◆PART１　原子燃料サイクル施設と周辺の状況
◆PART２　第一線の仲間たちはいま

14 平成５年度経営方針
16 平成５年度電力施設計画の概要
22 マンスリーNEWS
28 GROUP ウオッチング
北日本電線株式会社
30 トピックス
新番組 伊東四朗の OH!千客遠来

32 掲示板
35 社誌のニックネーム決定
～たくさんのご応募ありがとうございました～
36 定年退職者の方のご紹介
～長い間ありがとうございました～
38 気ままにおしゃべり　FREE TALKING
■平成５年２月　電力需給実績

表紙に登場してくれた人

「夢を力に、逞しい歩みを一明日への高い理想を掲げ一」という今年のモットーにちなみ，登場していただいた方に夢をお伺いしました。



六ヶ所サービスセンター　中村　修さん

二人の子供（男）をプロ野球とＪリーグの選手に育てあげ、契約金で女房とのんびり温泉旅行をすること。

三沢営業所お客さまセンター　高田扶美子さん

新婚旅行で行ったハワイへ息子と３人で、もう一度行けたらなと思っています。



本紙は、古紙を40%含んだ再生紙を使用しています。

特集

ルポ

原子燃料サイクル施設

青森県六ケ所村では今，将来のわが国のエネルギーの安定確保を目指して「原子燃料サイクル施設」の建設工事が進められています。今月の特集は，再処理工場の着工を目前に控えた「原子燃料サイクル施設」の現状をリポートします。



六ケ所村は八戸市から北へ約70km，下北半島のちょうどつけ根の部分に位置し，南北約33km，東西約14kmの太平洋に面する細長い村です。面積は約253㎢と東京23区（約592㎢）の約半分，大阪市（約212㎢）とほぼ同じ広い土地に約１万1,300人が住んでいます。

原子燃料サイクルとは？

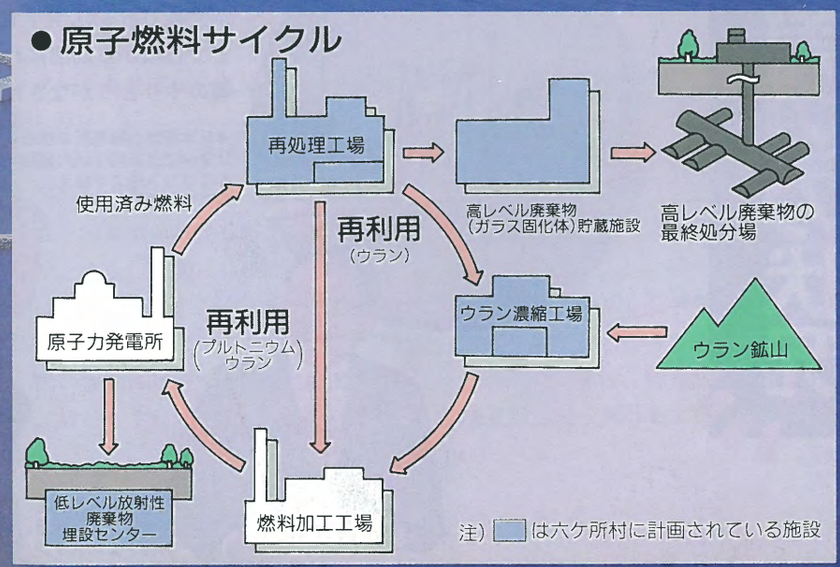
鉱山から掘り出されたウランは精錬されて六フッ化ウランとなって海外から日本に運ばれてきます。そしてこの六フッ化ウランに0.7%しか含まれていない〝燃える〟ウラン235の割合を２～４%に濃くするのが濃縮工場です。

濃縮された六フッ化ウランを加工して合金製の管に入れ，数十本まとめたものが燃料集合体で，原子力発電所ではこの燃料集合体を原子炉の中で核分裂させ発電します。

再処理工場では，使い終わった燃料から燃え残りのウランや新しく生まれたプルトニウムを化学的に処理して取り出します。こうして回収されたウランとプルトニウムは燃料として再利用されるわけです。

とりわけ「プルトニウム」は，将来のエネルギー問題を解決する大きな役割を担っていることから，原子力基本法で定められている平和利用を前提として着実に推進することとしています。

このように，原子燃料のウランは原子力発電所でいったん使われた後も，化学的に処理することで再び燃料として利用することができます。ウランは原子力発電所を中心にして輪のように循環することから，この一連の流れを〝原子燃料サイクル〟と呼んでいます。



PART 1

原子燃料サイクル施設と周辺の状況



一昨年の9月にオープンしてから今年3月末までに1,300人を超える来館者が訪れた「六ケ所原燃PRセンター」。写真右側は建築中の別館。

◆来館者18万人を突破 PRセンターでは

冷たい西風が吹きつける3月半ば，日本原燃㈱六ケ所濃縮・埋設事業所を訪ね，立地広報部の三浦さん（当社から出向）にサイト内を案内していただいた。

最初にサイクル施設の全容を把握するため「六ケ所原燃ＰＲセンター」へ向かい，そのあとにサイト内を案内していただいた。ＰＲセンターに見学にいらっしゃる一般のお客さまにも時間が許す限り，同じルートで見学していただいており，サイクル施設の理解促進に効果をあげているとのことである。

ＰＲセンターのそばでは，来館されたお客さまの休憩所などに利用していただこうと別館の建築工事が盛んに行われていた。今年4月末にはおよそ200名がゆっくりとくつろげる快適なスペースができあがる予定だ。

日本原燃の六ケ所濃縮・埋設事業所とこのＰＲセンターとは別会社であるが，見学者の応対などで日頃から細部にわたって情報のやりとりがなされている。



◀日本原燃の事務所本館からＰＲセンターに至る約1kmの道路わきにはコスモスが植えられている。



三浦さん（写真左）とＰＲセンター担当の佐藤さん。翌日，韓国からいらっしゃるお客さまのスケジュールの打ち合わせをしているところ。





▶ＰＲセンターには原子燃料サイクルの役割や仕組みのわかる展示物がいっぱいだ。



当社と六ケ所村の人々とのふれあいの拠点「六ケ所サービスセンター」。一昨年改築したばかりで所内の設備も充実している。4人の所員の明るくハツラツとした姿が印象的だった。

また，ここから車で10分程度のところにある当社の六ケ所サービスセンターとも日頃から情報を交換し合っている。

◆東京ドーム160個が入る広大なサイト内

ＰＲセンターから見学コースに従い，サイト内へと移動した。

事務所本館入口では日本原燃の社員ということがたとえ明らかであってもガードマンに社員証を提示する。同乗者の身元も厳重にチェックされ通過した。こうした厳しい確認の一つひとつがひいては安全な施設をつくるという会社の信頼感を得ることにもつながるのだろう。

とにかく広い敷地にビックリ。「私も最初は驚きましたが，数日もすればどこにどういう施設があるかということが手に取るようにわかるようになりますよ」と三浦さん。見学にいらっしゃる方々には「ここの敷地面積は740万㎡といってもピンとくる方はいらっしゃらないので，東京ドームが160個入る広さなんです」と例え話をしながら案内するようにしているという。案内する時にはこのような例え話のほかにも担当者によって，方言を交えたりして分かりやすく，そして親しみやすい雰囲気を出す工夫をしているということで見学者からは好評のようだ。

●日本原燃㈱のあらまし

名称　日本原燃株式会社
Japan Nuclear Fuel Limited
（略称　JNFL）
資本金　1,400億円
株主構成　全国9電力会社
日本原子力発電㈱
その他96社
本社　青森市
従業員数　約1,080名

（平成5年3月末現在）

◆平成12年の操業開始を目指す再処理工場

原子力発電所で電気を起こした使用済みのウラン燃料の中から，燃え残りのウランや新たに燃料として生まれたプルトニウムを取り出すのが再処理工場の仕事である。

再処理工場は，昨年12月に事業許可を受け，現在設工認（設計および工事方法の認可事項）



▼手前に広がるのが再処理工場の建設予定地。遠くにクレーンが見えるところは建設中の高レベル放射性廃棄物一時管理施設。



再処理工場の完成予想図。この工場では運転実績が豊富で信頼性の高いフランスの優れた技術との提携や，動力炉・核燃料開発事業団等の国内技術をもとに，より安全性の高い施設づくりを目指している。

について国が審査中の段階にあり，近々着工の見通しとなっている。

再処理工場の敷地内では，現在，日本の電力会社が海外に委託している使用済み燃料の再処理に伴う高レベル放射性廃液のガラス固化体を冷却のため30～50年間，一時的に安全に貯蔵・管理する一時管理施設が昨年５月に着工され，平成７年２月の完成を目指して数基の大型クレーンが動いていた。

「事務所本館の入口からここまで10kmもあるんですよ」という三浦さんの言葉に，改めて敷地の広大さを思い知らされた。



▲再処理工場予定地内にある六ケ所建設所。ここで再処理工場の建設に向け準備が進められている。

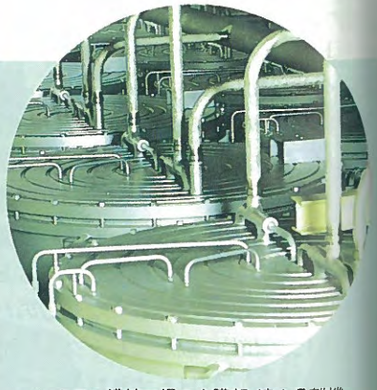
◆順調に操業を続けるウラン濃縮工場



前段で説明したとおり，天然ウランの中には〝燃える〟ウラン235はわずか0.7%しか含まれていない。原子力発電所で燃料として使うためにはウラン235の濃度を２～４%程度に高めることが必要で，これを行うのがウラン濃縮工場である。

これまでは，ウラン濃縮も大部分はアメリカやフランスなどに頼んでいる現状にあったが，日本原燃の濃縮工場の完成で，国内でもウラン濃縮ができる体制が整った。

ウラン濃縮工場は，昨年の３月27日，150トンSWU／年で操業を開始。最終的には，1,500トンSWU／年の規模になる予定である。



▲ウラン濃縮工場の心臓部・遠心分離機。洗濯機の脱水と同じ原理で六フッ化ウランの濃度を高める。
◀ウラン濃縮工場全景。手前右側の建物が六ケ所濃縮・埋設事業所の事務所本館。

●注　SWU(Separative Work Unit)
⇨天然ウランを濃縮する際に必要となる仕事量(重さではない)を表す単位で「分離作業単位」と呼ばれ、ウラン濃縮度を高めるほど分離作業量は大きくなる。
100万kWの原子力発電所では2～4％に濃縮したウランが年間約30トン必要で、このためのウラン濃縮役務は約120トンSWU。

◆低レベル放射性廃棄物埋設センター

原子力発電所からは，運転中や定期点検時に，わずかながらも放射性物質を含んだ廃棄物（例えば，床の洗浄水や作業に使った布や紙・金属など）が出るが，このような低レベル放射性廃棄物は，現在は各原子力発電所で厳重に保管されている。六ケ所村の埋設センターは，これらを集中して，安全に効率よく処分するための埋設施設である。

埋設センターの廃棄物受け入れは，国から20万本の認可を受けており，最終的には300万本を埋設する計画である。

廃棄物の受け入れは，昨年の12月から開始されており，今年の３月末までにドラム缶6,080本が埋設される。





▲現在，200リットルのドラム缶約5,000本が埋設できるコンクリートピットが10個建設されている。

▶取材当日は中部電力㈱浜岡原子力発電所（静岡県浜岡町）からの廃棄物の運搬作業が行われていた。



▲全国の原子力発電所で発生する低レベル放射性廃棄物のドラム缶を海上輸送する専用運搬船「青栄丸」。青栄丸で海上輸送された輸送容器（ドラム缶８本を収納）は，むつ小川原港に陸揚げされ，トラックに積みかえられる。



▲低レベル放射性廃棄物管理建屋。港を出たトラックは，約９kmの専用道路を通って埋設センターに到着し，輸送容器が一時この管理建屋に置かれ，その後，コンクリートピットに運ばれ埋設される。

PART 2

原子燃料サイクル施設 ◆第一線の仲間たちはいま◆

六ケ所村にある原子燃料サイクル施設には，日本原燃㈱六ケ所濃縮・埋設事業所および六ケ所建設所の社員345名（平成５年２月末現在）のうち当社から35名の方が出向されています。

ＰＡＲＴ２では，原子燃料サイクルの確立を目指す５人の出向社員の方の表情をお伝えします。

昨年３月にウラン濃縮工場が、12月には低レベル放射性廃棄物埋設センターが操業を開始し、みなさんがここに来てから周りの様子もずいぶんと様変わりをしてきたと思いますがいかがですか。

佐々木●そうですねぇー，ここに来た当時は人影のまばらな寂しいところだなぁというのが率直な印象でした。それぞれの施設の着工もまだ決まっていませんでしたしね。

小　野●昨年の11月からは再処理工場の建設に携わる六ケ所建設所も完成し，いよいよ本格化のきざしが見えてきました。

葛　西●それと合わせて工事関係者もだいぶ増えてきましたし，サイト内は活気にあふれていますよ。

工　藤●まさに，これが建設現場だということを実感しています。再処理工事も近々着工され，さらに活気づくと思います。



工藤　寿明さん
（六ケ所濃縮・埋設事業所
ウラン濃縮工場建設部建築課副長）

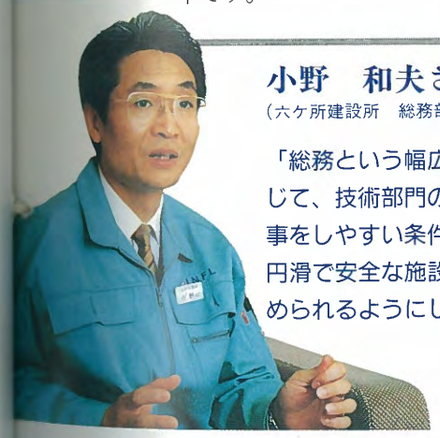
「国にとっても電気事業者にとっても重要な施設建設に参加できることに誇りと責任を持って精いっぱい努力していきたい」



昨年の11月17日に操業を開始した六ケ所村の誘致企業「大同電機工業㈱六ケ所工場」

事務所に来る途中に六ケ所村の尾駮（おぶち）地区を通ってきたのですが、さまざまな施設が建設中で、村内も活気に満ちている感じがしますね。

小　野●尾駮地区には今，私たち日本原燃の独身寮や原燃輸送の家族寮が建設されています。㈶環境科学技術研究所も建設中です。



小野　和夫さん
（六ケ所建設所　総務部総務課副長）

「総務という幅広い業務を通じて、技術部門の人たちが仕事をしやすい条件をつくり、円滑で安全な施設の建設が進められるようにしていきたい」

佐々木●六ケ所村は「スポーツの町・六ケ所」を宣言した昨年，むつ湾一周駅伝大会の総合５位をはじめ，県民体育大会でも４回目の総合優勝に輝くなど，スポーツの町にふさわしい１年になりましたが，これからは科学の町としても発展していくのではないでしょうか。

三　浦●このほかにも，昨年の11月に送配電線用架線金具の専門メーカーの大同電機工業㈱六ケ所工場が操業を開始して，地元の雇用拡大にもつながっています。

三浦　康則さん
（六ケ所濃縮・埋設事業所
立地広報部広報課副長）

「お客さまへよりわかりやすい説明ができるよう知識の研さんに励みたい。また趣味の絵画を通じて地元の方々とのふれあいを深めたい」



こうして形のあるものができてくると、村内の人たちともいろんな場面で接触する機会が増えてきますよね。

葛　西●私は，ここから車で10分ほど離れたところにある尾駮寮に入っているのですが，夏なんかは寮まつりと称してビアガーデンを開いてご近所の方を招待するんですよ。

小　野●私の場合は健康のため朝起きるとウォーキングを続けているのですが，近所の方との朝のあいさつは欠かさないこ

とにしています。また，所内の警備員や清掃作業員の方などは地元の人が多く，日頃からのコミュニケーションを大切にしています。

三　浦●日本原燃㈱，げんねん企画㈱，原燃興産㈱，六ケ所村役場の方々で「絵画愛好会」をつくり，現在20数名の会員で地元の文化活動に参画し楽しくやっています。そんな何気ない村民の方とのふれあいが効を奏して「一緒に一杯飲むべ〜」とか，「困った時は，何でも相談して」と言われたりした時は，本当にここに来て良かったなぁと思います。

工　藤●先日のことでしたが，私の車検が翌日切れることにたまたま気がついたんです。すぐ（村内の）知り合いの自動車工場に電話をすると，無理を押してその日のうちに車検を済ませてくれたんです。これには感激しました。

佐々木●六ケ所村の人たちは一度親しくなってしまうといつまでも親切にしてくれるんですよ。





昨年７月に原燃産業と原燃サービスが合併して、今の日本原燃が発足しました。職場には地元から採用になった社員の方をはじめ、他電力会社の方や電力関係団体の方もいらっしゃいますが、どのような点に気を配られていますか。



佐々木　宏さん
（六ケ所建設所
建設部電気機械課長）

「50歳にしてこのビックプロジェクトに参加できた。与えられたチャンスを生かし、安全な施設の建設に向け全力投球していきたい」

佐々木●建設業務の手法が各電力会社ごとに異なっていて，仕事を進める時は十分な打ち合わせをする必要があります。会社そのものが創立間もないということからこのような事もありますが，目標を目指し心を一つにするということは全社員が認識し合っていることです。



（写真左上）尾駮地区に建設中の日本原燃㈱の独身寮。ここから500mほどのところには㈶環境科学技術研究所（写真上）のほか，事務所やビルなどが建設中だ（写真左）。

小　野●私がいる職場では総務部５名で，総務・労務・安全衛生という三つの業務を受け持っていますが，それぞれが分担業務以外の仕事を相互に補完し合うことを心掛け，チームワークの発揮に努めています。

工　藤●寮には電力各社の方も入っていますから，週に１回ぐらいは部屋に集まりそれぞれの土地の地酒を持ち寄って情報交換会を行ったりもしているんですよ。

葛　西●東京電力や中国電力の方なんかは，夏休みの時期になると寮に家族を呼んで周辺の観光も兼ねながら避暑地としてこの土地を楽しまれているという話なども聞きますね。

三　浦●職場では「何でも言い合える職場」をモットーにしています。自分の気持ちを伝えようとすると，どうしても自分が生まれ育った土地の言葉になってしまいますから，津軽弁，南部弁，福岡弁，関西弁などが飛び交い，まさに日本全土を凝縮した職場という感じがしています。

最後に当社の社員へのメッセージを代表して葛西さんからお願いします。

葛　西●私たちの母体の東北電力の社員の見学者数は，おかげさまで昨年の４月から今年の１月までで1,000名を越えました。ぜひ，これからもたくさんの社員の方にこの地を訪ねて，原子燃料サイクル施設の理解を深めていただきたいと思います。いつでも歓迎いたしますので，ぜひいらしてください。



葛西　大治郎さん
（六ケ所濃縮・埋設事業所
立地広報部広報課課長）

「一人でも多くの方々にＰＲセンターやサイト内を見学していただきたい。特に次の時代を担う若い人たちや子供たちに現地をＰＲしたい」

●原子燃料サイクル施設の主な足どり●

1980	昭和55年	３月１日…日本原燃サービス㈱発足
1984	59年	７月27日…電気事業連合会が青森県および六ケ所村に原子燃料サイクル３施設の立地申し入れ
1985	60年	３月１日…日本原燃産業㈱発足
		４月18日…青森県知事、六ケ所村長が電気事業連合会会長に原子燃料サイクル３施設の立地受け入れを回答「原子燃料サイクル施設の立地への協力に関する基本協定書」を締結
1987	62年	５月26日…ウラン濃縮事業許可申請書を国に提出
1988	63年	４月27日…低レベル放射性廃棄物埋設事業許可申請書を国に提出
		８月10日…ウラン濃縮事業許可
1988	昭和63年	10月14日…ウラン濃縮工場着工
1989	平成元年	３月30日…再処理事業指定申請および廃棄物管理事業許可申請書を国に提出
1990	2年	11月15日…低レベル放射性廃棄物埋設事業許可
		11月30日…低レベル放射性廃棄物埋設センター着工
1991	3年	９月20日…六ケ所原燃ＰＲセンター開館
1992	4年	３月27日…ウラン濃縮工場操業開始
		４月３日…廃棄物管理事業許可
		５月６日…廃棄物管理施設着工
		７月１日…日本原燃サービス㈱と日本原燃産業㈱が合併、「日本原燃㈱」発足
		12月８日…低レベル放射性廃棄物埋設センター操業開始
		12月24日…再処理事業許可

平成5年度
経営方針

夢を力に、逞しい歩みを

明日への高い理想を掲げ

4月1日に示達された平成5年度経営方針の骨子をお伝えします。詳細につきましては，「対話の資料集」（平成5年度版）をご覧ください。

今，世界は

世界は，東西対立構造から多極的な世界へと構造転換が進む中で，政治・経済面で新たな国際秩序づくりに向けた取り組みを続けています。

一方では，経済のグローバル化が進み，自由貿易体制の枠組みづくり，地球環境問題，エネルギー問題，南北問題など世界的規模で解決すべき課題が存在しており，他方では，これまでの政治構造の中で押さえられてきた民族主義の台頭，宗教対立の激化などの地域的な問題も再燃しています。

また，欧米を中心としたエネルギー市場の自由化や日本的経済システムの構造改革要請の高まりなど，当社としても，世界的潮流を踏まえた施策展開が求められています。

わが国の状況

一方，わが国においても，東京一極集中による弊害，地方の過疎化，長い労働時間，住宅・社会資本整備の立ち遅れなどさまざまな課題が顕在化しています。

こうした中で，わが国経済は，バブル経済の崩壊を機に景気の後退が進み，設備投資や個人消費も減退していることに加え，生産・在庫調整が長引くなど調整局面が続いています。平成5年度の経済は，政府の景気対策などにより，緩やかな回復傾向となると見込まれます。

課題山積の電気事業

電気事業を取り巻く経営環境を見ると，地球環境問題や原子力に対する不安感，権利意識の高まりなどによる電源開発・系統立地の困難化など，供給面における社会的制約が顕著になってきています。一方，需要面では生活水準の向上やゆとり・豊かさ・アメニティ志向の高まりなどから，民生用需要を中心に着実な伸びが予想されています。

こうした中で，原子力開発の推進やCO_2排出量抑制，首都圏を中心とした需給逼迫への広域的対応，分散型電源の開発・普及促進，省エネルギー・省資源の一層の推進などについて，環境保全と豊かな社会の調和を目指したより強力な取り組みが必要とされています。また，労働時間の短縮に向けての努力や社会貢献活動の充実などが求められています。

主要施策の概要

これらの経営環境を踏まえ，主要施策として次の4項目を定め，着実に展開し，その達成に努めます。

1 需給の安定を目指した電源開発・系統立地と広域運営の強力な推進

原子力開発・系統立地がますます困難化する中で，地球環境問題や需要の増加傾向に対応した供給力の確保が求められています。このため，経営資源の重点配分により，原子力を中心とした電源開発と，系統立地を積極的に推進します。

また，東北地域における立地点の優位性と発展の可能性を生かし，国土の均衡ある発展と共存共栄を指向した広域運営の拡大に向けて最大限の努力を行います。同時に，設備工事，燃料の安定確保などを着実に推進します。

2 収支安定を目指した原価低減対策の展開

今後の大規模電源の運転開始に伴う資本費の増加が見込まれる中で，電気料金の長期安定を目指した設備投資の効率化などの原価低減対策ならびに予算の効率的運用などの収支安定施策を強力に推進します。

また，安定した資金調達，負荷平準化を重点とした効率的な営業開発，原価低減を目指した技術開発を積極的に推進します。

3 社会・環境問題への積極的な対応

原子力に対する不安感や権利意識が高まる中で，原子力を中心とした電源開発を推進するため，エネルギー問題全般にわたる社会的合意形成に向けた諸施策を積極的に展開します。併せて，地球環境問題，企業市民活動の定着，地域振興への協力，資材調達問題，負荷平準化などへの積極的な取り組みを推進します。

4 ゆとり創造に向けた業務改革の推進と変革を担う人材の育成

WAVE21キャンペーンの成果を生かし，企業革新施策の定着を図るとともに，「新たな経営課題への適切な対応」と「労働時間短縮」を目的とする業務削減諸施策を展開し，全部門にわたって業務改革を推進します。

さらに，経営の重点課題への対応を図るため，重点的な人材配置と加点主義に基づく新人事諸制度の導入・定着を図り，経営環境の変化に対応できる挑戦意欲にあふれた人材の育成諸施策を展開します。

平成５年度
電力施設計画の概要

電力需要の増大に対応した万全な供給力確保に向けて

～女川３号機・東通２号機を新たに計上～

1. 計画策定の基本方針

平成５年度の電力施設計画は，次の４項目を力点として策定しました。

①需給の安定を目指した電源開発・系統強化の推進

②地球環境問題への積極的な対応

③徹底したコストダウンと効率的な設備形成

④広域運営の推進

2. 計画の主な特徴

●今後の長期的な電力需要の増加傾向を踏まえて，電源開発と送電系統の強化を最重点課題としており，至近年度で能代１・２号機，女川２号機の運転開始を計上したほか，今回新たに，電源で女川３号機，東通２号機の開発を計上していること。

●平成５年度の設備投資額が，電源開発や送変電設備の強化ならびに政府の第三次景気対策への協力要請などを踏まえ，昨年計画比で373億円増の5,053億円と，当社として初めて5,000億円台となったこと。

3. 計画の概要

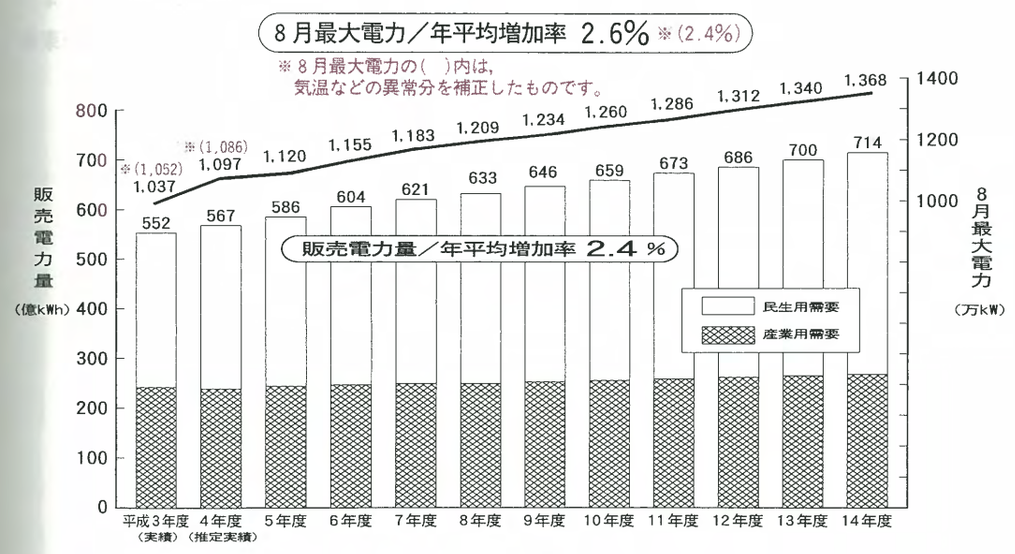
1 想定需要

●平成３年度から14年度までの販売電力量の年平均増加率は，経済見通しなどの諸指標をもとに，最近の需要動向や東北地域の開発動向などを勘案し，2.4％と想定しました。

- 民生用……3.2％
- 産業用……1.2％

●平成３年度から14年度までの最大電力の年平均増加率は，生活水準とアメニティ志向の高まりなどによる民生用需要のウエートの増加などを勘案し，2.6％と想定しました。

今後の需要見通し



2 設備計画

①電源開発計画

今後の需要動向とエネルギー情勢に的確に対応し，長期的な安定供給を確保するため，

●長期的にバランスのとれた電源構成を目指す

●地元との共存共栄を基本とした電源開発を進める

●当社管内の電力供給を万全のものとしたうえで，全国大の需給安定のために可能な限り協力していくこと

を基本的な考え方として，電源開発を次のとおり計画しました。

a．水力発電

建設中の月山を平成９年５月に運転開始するとともに，５年７月に新鷹の巣の着手を計画しています。

b．火力発電

建設中の能代１号機を平成５年６月に，能代２号機を６年12月に，原町１号機を９年７月に運転開始するとともに，着工準備中の原町２号機の開発を推進する計画としました。

また，地熱発電は，建設中の上の岱を６年３月に運転開始するとともに，澄川，柳津西山および葛根田２号機の開発を推進していきます。

c．原子力発電

建設中の女川２号機を平成７年７月に運転開始するほか，巻１号機を14年度の運転開始を目途に開発を推進していきます。また，新たに女川３号機を６年３月着手，14年３月運転開始として計画しました。東通については１号機に加え，２号機を新たに計画し，浪江・小高についても鋭意開発を推進していきます。

電源開発計画

（単位：万kW）

設備	地点名	出力	着手	着工	運転開始
水力	月山	0.88	元－11	4－7	9－5
	新鷹の巣	1.57	5－7	6－5	10－3
	H 1	0.5	6－7	7－4	10－5
	H 2	1.73	6－7	7－4	10－5
	H 3	1.33	6－7	7－4	10－5
火力	原町１号	100	55－3	5－2	9－7
	原町２号	100	55－3	6－2	10－7
	能代１号	60	56－3	60－10	5－6
	能代２号	60	56－3	3－10	6－12
	能代３号	60	56－3	15年度以降	15年度以降
	上の岱	2.75	3－3	4－4	6－3
	澄川	5	4－3	5－4	7－3
	柳津西山	6.5	4－12	5－6	7－5
	葛根田２号	3	5－3	6－4	8－3
	相川２号	1	4－7	5－2	6－6
	飛島７号	0.02	5－11	6－11	8－6
	粟島６号	0.025	6－3	7－4	8－6
原子力	巻１号	82.5	56－11	8年度	14年度
	女川２号	82.5	62－3	元－8	7－7
	女川３号	82.5	6－3	8－11	14－3
	東通１号	110	7－3	10年度	16年度
	東通２号	110	7－3	11年度	17年度以降
	浪江・小高	82.5	7－3	10年度	15年度以降

②広域運営

電力会社間の広域運営は，各社の自主経営を基本に，電力の安定供給や供給コストの低減などを図るため従来より進めています。特に東京電力との間では，これまでも原子力開発への開発参加などを実施し着実な成果をあげてきましたが，今後，これらに加え，次のとおり広域運営の拡大をはかる計画としました。

a．広域開発

●**新地地点**／当社と東京電力とが共同出資をしている相馬共同火力発電㈱が，石炭火力２基（新地１・２号機，各100万kW，平成６年７月および７年７月運転開始）を開発します。

●**東通地点**／当社の東通原子力１号機（110万kW，平成16年度運転開始）に，東京電力が開発参加します。

b．広域融通

広域開発した電源の円滑な運用をはかるとともに，広域融通の拡大などにより，地域の需給安定と相互の需給運用の効率化をはかります。

また，広域運営の拡大に対応して，平成７年度に，500kV送電線（相馬双葉幹線）による東北・東京間の連系強化を計画しました。

③送変電計画

既設設備を最大限に活用しつつ，安定供給の確保と供給信頼度の向上をはかることを基本に，中長期の電源開発計画・地域開発および広域運営の拡大に対応できる効率的な送変電設備の増強を計画しました。

超高圧送電線増強計画

工事件名	工期 着手	工期 着工	工期 運用開始	工事概要（）は設計電圧
新地火力線	3－7	3－10	5－4	275kV(500kV) 19.1km
中越幹線	4－3	4－6	7－6	275kV(500kV) 68.0km
相馬双葉幹線	5－5	5－9	7－6	500kV 26.2km
原町火力線	6－2	6－5	8－4	275kV 18.0km
常磐幹線昇圧	6－4	6－9	7－4	275→500kV 100.9km
新地火力線昇圧	6－4	6－9	7－4	275→500kV 19.1km
新八戸幹線	7－2	7－5	9－6	275kV 19.2km

超高圧変電所増強計画

工事件名	工期 着手	工期 着工	工期 運用開始	工事概要
石巻新設	4－2	4－5	5－4	275/154kV 60万kVA
西仙台昇圧	4－7	4－10	7－4	500/275kV 200万kVA
南相馬昇圧	4－10	5－1	7－4	500/275kV 200万kVA
新地新設	4－10	5－1	7－7	500/154kV 30万kVA
南相馬増設	4－11	4－11	5－6	275/ 66kV 10万kVA
中越新設	5－4	5－7	7－6	275/154kV 90万kVA
新水沢新設	5－12	6－3	7－6	275/154kV 30万kVA
いわき新設	5－12	6－3	7－6	275/154kV 60万kVA

④配電計画

電力需要の増加に対応した設備の増強を行うとともに，供給信頼度向上対策などについて，次のような設備の拡充･改良工事を推進します。

a．設備構成の強化，設備体質面の改善，電力損失の軽減
b．配電総合自動化計画の推進
c．配電線地中化の推進

3 需給計画

前述の需要見通し，ならびに電源開発計画に基づく８月最大電力需給バランスは，右の表のとおりで，供給予備率は10%程度と中長期的にも安定供給を確保できる見込みです。

8月最大電力需給対象表

(単位：万kW･%)

項目 / 年度	供給力	需要	供給予備力	供給予備率
5	1,227	1,120	107	9.6
6	1,262	1,155	107	9.2
7	1,307	1,183	124	10.5
8	1,313	1,209	104	8.6
9	1,339	1,234	105	8.5
10	1,379	1,260	119	9.5
11	1,418	1,286	132	10.3
12	1,452	1,312	140	10.7
13	1,489	1,340	149	11.1
14	1,534	1,368	166	12.1

4 設備工事費

以上の計画に基づく設備工事費は，平成５年度で5,053億円，平成６年度で5,160億円が見込まれています。

設備別工事費

(単位：億円)

項目			年度 5	6
拡充工事	電源	水力	14	32
		火力	1,408	1,501
		原子力	457	290
		小計	1,879	1,823
	流通その他	送電	681	890
		変電	437	713
		配電	401	408
		給電・その他	118	91
		小計	1,637	2,102
	計		3,516	3,925
改良工事			1,171	993
調査費			265	200
合計			4,952	5,118
原子燃料			101	42
総計			5,053	5,160

5 環境問題への対応

当社は，地球環境問題の保全と豊かな社会づくりの調和を目指すことを理念とした「東北電力地球環境行動指針および行動計画」を策定し，東北電力企業グループをあげて地球環境問題に積極的に取り組んでいるところです。

今後，着実に増加していく電力需要に対し，

環境保全に十分配慮しながら原子力を中心とする多様な電源の開発を進め，電力の安定供給をはかります。

また，従来から進めている種々の環境対策を引き続ききめ細かく進めていくとともに，

・発電効率の向上，送電損失の低減など設備全般にわたった効率向上
・資源リサイクル，石炭灰の有効利用などによる廃棄物の削減および電気自動車の導入など，環境負荷の低減
・高効率ガスタービンの開発，石炭ガス化複合発電の実証試験などの研究開発
・東北の風土に適合する自然エネルギー・新エネルギーの開発
・廃棄物発電などの余剰電力の購入

などを積極的に推進していきます。

6 新エネルギーの導入

太陽光・風力・燃料電池などの新エネルギーの開発については，環境負荷の点で優れていることから，実用化に向けた技術開発や実証試験を積極的に推進していくとともに，地域特性，経済性，信頼性などを踏まえながら，当社事業所などへの導入を推進し，今後の本格導入に向けた実証試験を進めていきます。

また，自家発電としてお客さまが導入される新エネルギー発電等についても，余剰電力を積極的に購入し，新エネルギーの普及促進に協力していきます。

●風力発電：合計2,750kW

竜飛ウインドパーク(275kW×５台，1,375kW)の実証試験を継続していくとともに，平成７年度までに同ウインドパーク内に５台増設し，合計10台（2,750kW）とします。

●太陽光発電：合計120kW

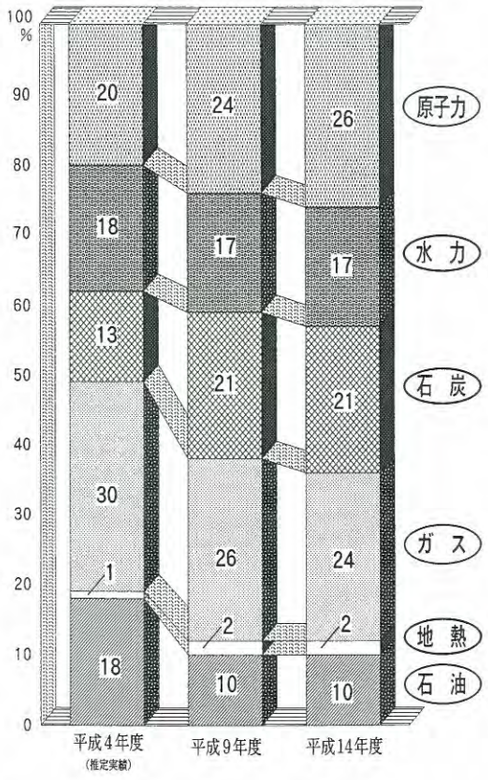
秋田支店（10kW），郡山営業所（10kW），仙台北営業所（10kW）での実証試験を継続していくとともに，平成７年度までにさらに90kWの設備を導入します。

●燃料電池：合計200kW

仙台南営業所（100kW）での実証試験を継続していくとともに，平成７年度までにさらに100kWの設備を導入します。

＜参　考＞

電源構成（発電電力量）



大地を踏み締め、志し高く蒼空を目指せ

明間社長、入社式で新入社員を激励

４月１日，本店電力ホールにおいて，平成５年度の入社式が行われた。

はじめに本年度の新入社員462名全員の名前が読み上げられ，明間社長より各店所代表の９名に辞令が交付された。

引き続き明間社長が訓示を行い，現在，平成不況と呼ばれる経済の停滞が長引き，各企業とも厳しい経営に迫られているなか，どのように自分の仕事の最適化をはかるかという，大局的な考え方が必要となる観点から，電力の安定供給，東北地域と当社との関係，活力溢れる企業づくりの３点について述べた後，「４月１日は新しい出会いの一日である。春の真っただ中，みなさんには美しくたくましく，そして豊かな人間として，元気いっぱい人生を歩んでいただきたい。たくましい根っこを大地にしっかり広げ，太陽の光を全身に浴びるように緑の枝葉を広げて，ぜひ大きな木，大樹に育っていただきたい。そのような気持ちを込めてみなさんに『大地を踏み締め，志し高く蒼空を目指せ』という言葉を贈る」と激励した。

これに応え，新入社員を代表して仙台技術センター制御所配属の武田直さんが，「総合エネルギー産業として，経済，生活，文化を支える豊かな東北づくりに貢献する企業の使命と責任の重さに身の引き締まる思いがする。目まぐるしく変化する社会環境の中で，いかに会社にそして社会に貢献できるかを問い続け，若さと情熱を持って職務の遂行に当たっていきたい」と誓いの言葉を述べた。

また，宮城支店営業・配電部寺崎菜百子さんによる「歓迎の言葉」があり，入社式に花を添えた。



▲元気よく社歌を歌う新入社員のみなさん

関係会社首脳懇談会開催される

３月４日，本店において，東北電力企業グループ各社の首脳が一堂に会し，平成５年度の経営課題などについて意見交換を行う「関係会社首脳懇談会」が開催された。

この懇談会には，当社からは明間社長をはじめ勝又副社長，小林副社長，松田副社長，高橋常務，青木常務が，関係会社27社からは会長，社長など33名がそれぞれ出席した。

懇談会に先立ちあいさつを行った明間社長は，最近の事業活動に触れた後，電力企業グループとして，地域的一体感や社会との共生の思想を示しながら存在価値をどう高めていくかが大きな課題であることを強調。また，「おのおのの企業が，自主的な経営を基本とし，創造的な事業活動を展開すると同時に，社会に対し公平性，透明性を十分配慮しつつ，人と技術の交流などを通し，協同・補完というグループならではの結束力，総合力の強化を図り，課題をクリアしていかなければならない」と述べた。



▲東北電力企業グループの首脳が一堂に会した

この後，懇談に入り，グループ各社の経営の力点をテーマに地球環境問題やビジネス・グローバル・パートナーシップ対応などを中心に活発な意見交換を行った。このなかで，地球環境問題については，経営の重点課題と位置付け，生産活動における廃棄物回収・再利用の徹底，環境にやさしい地球システムづくりへの参画，緑化運動の推進などの意見が出された。

また，ビジネス・グローバル・パートナーシップ対応問題については，ビジネスチャンスとしてとらえ，コスト低減に努力し，市場競争力を確保していくが，グループとして協同して研究開発などを積極的に行っていくべきであるとの意見も目立った。

中電連との交流行われる

４月４日から11日までの８日間にわたり，本店ほかを会場として，中国電力企業連合会（中電連）との交流覚書に基づき業務全般にわたる交流が行われている。

中電連は，中華人民共和国のエネルギー省にあたる能源部の直轄機関として，能源部の策定した電力政策の実施や電気事業者の管理など，中国全土の電気事業者と能源部との橋渡し的役割を担う組織である。

当社は，昨年３月に中電連との間で電力関連技術をはじめ電気事業の経営全般にわたる情報・資料の交換や相互の人的交流を行うことを内容とした交流覚書を締結している。その後，９月には当社技術者を中心とした訪問団が中電連をはじめ黒龍江省電力工業局などを訪問し，火力発電所における環境対策や電力設備の保守・運用技術などに関する技術交流を行った。

今回の交流では，中電連副理事長の游吉寿（ヨーダーショウ）氏を団長とする一行７名が訪れ，前回の交流で中国側から強い希望が示されていた事務・技術両分野における経営管理面に重点をおいたテーマを取り上げ，意見交換を行っている。

平成４年度 社長賞大賞 決まる！ ▶事務系初の大賞◀

３月24日，本店において平成４年度社長賞大賞の表彰が行われた。

今回大賞に輝いたのは，32件の候補の中から選ばれた２件14名の方々で，明間社長から賞状とブロンズ像が手渡された。

今回受賞となった「一周波同時送受話方式車載用移動無線機の開発について」は，独創的なアイディアから世界で初めて一つの周波数で送信と受信が同時に可能な無線機を開発したもので，移動無線機の高度化ならびに周波数の有効活用に貢献した。国内外において特許を出願しており，国際的にも注目を浴びている。また，「生産性向上を目指した日地割編成業務（ＯＡ化）の抜本的改善について」は，店所の枠を越え，共通の問題意識を持ちながら共同で改善に取り組み，大幅な労力の削減と業務の効率化・省力化に貢献化したもので，事務系部門として初の大賞受賞となった。また，昭和39年に現在の表彰制度が発足してから，事務系初の特賞も受賞している。

あいさつに立った明間社長は，「淘汰のないところに進化はなく，進化とは創造することの積み重ねである。まさに皆さん一人ひとりの創意・工夫こそが『淘汰のもつ創造的な力』であり，当社の新たな進化に不可欠な力である。

みなさんの受賞が，各職場において刺激となるとともに，本日の受賞を励みとしてさらに新たな創造に挑戦してほしい」とお祝いの言葉を述べた。



▲明間社長より賞状と記念のブロンズ像が手渡される

件名	受賞者 所属（グループ名）	氏名
一周波同時送受話方式車載用移動無線機の開発について	応用技術研究所情報通信研究室主任研究員	大衡　壮
	東京支社技術課勤務(財)電力中央研究所出向	伊澤　清順
生産性向上を目指した日地割編成業務（ＯＡ化）の抜本的改善について	盛岡営業所　料金課　料金日地割ＯＡ開発グループ（３名）	
	盛岡営業所料金課料金係	澤谷　常信
	盛岡営業所料金課料金係料金主任	嶋　裕昭
	盛岡営業所料金課料金係	関　靖明
	秋田支店　営業・配電部　料金日地割グループ（３名）	
	秋田支店営業・配電部	武藤　幸基
	大館営業所料金課長	高橋　重孝
	営業部営業課	佐々木眞一
	新潟営業所　料金課　日地割グループ（６名）	
	新潟営業所料金課料金係	田中　裕宣
	燕営業所お客さまセンター課長	川原　武広
	新津営業所お客さまサービス課主任コンサルタント	佐藤　有子
	新潟営業所料金課料金係	井上　秀幸
	新潟営業所料金課集金係	石川　勇
	配電部配電計画課勤務通研電気工業㈱出向	関澤　学

三居沢電気百年館 リニューアルオープン！

３月25日，仙台市の三居沢電気百年館は，２階部分の改装を終え，リニューアルオープンした。

同館は，明治21年に三居沢発電所において東北で初めて電気が灯されてから100年目を記念し，昭和63年建てられ，開館以来５年間で10万7,000名を越えるお客さまが入館している。

今回の改装では，２階部分をお子さま向けに『でんき・習・遊ランド』と名付け，家庭と電気エネルギーとのふれあいスペースとしている。家庭や学校でいつも使用している鉛筆や消しゴムなどを用いて，楽しみながら身近に電気エネルギーや未来エネルギーに触れることができるようにさまざまな工夫を凝らしている。

なお，同日は，開館に先立ち岩沼市のさくら幼稚園の園児約30名を招待して，オープニングセレモニーが行われた。



▲さっそく電気を体感

葛根田 地熱発電所2号機 第123回電調審了承！

３月17日に開催された第123回電源開発調整審議会において，当社葛根田地熱発電所２号機（出力30,000kW，岩手県岩手郡雫石町）の開発計画が了承され，平成４年度の電源開発基本計画に組み込まれた。

当社は，これまで，エネルギー資源の有効活用ならびに電源の多様化の観点から，貴重な国産エネルギーであり，東北地方に比較的豊富にある地熱エネルギーの利用に関する調査・研究に積極的に取り組んできた。

こうした中で，葛根田地区においても，昭和53年に運転を開始した１号機に続いて，２号機の開発可能性を調査してきたが，噴気量確認ならびに貯留層評価により30,000kW増設の見通しが得られ，経済性も評価できる状況になったことから，蒸気生産部門を担当する東北地熱エネルギー株式会社と共同で開発を進めることになったものである。

同発電所は，最大出力30,000kW，年間発生電力量約２億3,652kWh（設備利用率約90％）となる計画で，平成６年４月着工予定，平成８年３月の運転開始を目指す。

電気記念日 祝典 行われる

３月25日，仙台市内のホテルにおいて，電気記念日の祝典が東北電気協会（会長　当社玉川会長）主催で行われた。

電気記念日は，明治11年３月25日，東京虎の門の工部大学校（現在の東京大学）において，日本で初めて電気が灯ったことを記念したもので，毎年全国各地で記念行事が行われている。

祝典では，明間社長（東北電気協会会長代理）が，「電気の利用は，光，熱，動力源として，さらには情報通信網のエネルギー源として今や国民生活や産業経済活動において欠かすことのできないものとなっている。特に，近年，エネルギーの需要形態はますます多様化・高度化する中で，利便性，クリーン性，安全性などに優れた電気エネルギーの果たす役割は一段と大きくなっていると考えている。今後，経済・エネルギー・環境の調和を図りながら，エネルギーの安定を図ることが重大な課題だと考えている」と式辞を述べた。

引き続き，電気事業に30年以上務め，80歳を迎えた東北地方の傘寿功労者89名の代表に感謝状と記念品が贈られ，その後，宮域ＥＣ協会副会長である田中素香東北大学経済学部教授から「ＥＣ統合の現在と日本の対応」と題して記念講演が行われた。



▶式辞を述べる明間社長

4月は『もっとコミュニケーション月間』

今年度は，平成３年度より取り組んだ「企業市民」活動の定着の年であり，「地域協調の新たな展開」の初年度である。

地域協調推進本部では，４月を「もっとコミュニケーション月間」と位置づけ，できるだけ多くの従業員が対話を行う中で，東北電力企業グループの地域社会への役立ち方の基本的考え方である地域協調について理解を深めることとしている。

特に各地域協調推進委員会がコミュニケーション宣言に基づき，年間計画の中で行う活動について全従業員が共有するとともに，地域協調の前提である部門・事業所を越えて情報のパイプを太くすることや一人ひとりが地域社会の声に耳を傾けることの重要性を再認識する活動に取り組むこととしている。

青年海外協力隊でモロッコへ…



このたび，初めて当社社員が青年海外協力隊員に選ばれ，モロッコの職業訓練学校の電気工事指導員として赴任することとなった。また，その参加期間についてボランティア休職制度が初めて適用される。

当社では，社会における企業の責任・役割を積極的に果していくとの考えのもと，平成４年度より従業員の社会貢献・国際貢献を支援する制度としてボランティア休職制度を導入している。

この制度の適用の一つとして，平成４年10月より青年海外協力隊への参加者を社内募集した。そして，三沢営業所六ケ所サービスセンター勤務の佐藤義仁さん（写真）が国際協力事業団の行う選考に合格した。

この結果，本人より出されていたボランティア休職制度の適用を認め，今年９月上旬より国内訓練を開始し，12月上旬にアフリカのモロッコに出発することとなった。現地では，職業訓練学校においてモロッコ人教官とともに12歳から18歳の電気工事科の生徒に電気工事に関する基礎的知識・技術を２年間にわたり指導する。

第3回 仙台ハーフ力走に、

３月７日，仙台市において「第３回仙台ハーフマラソン大会」が開催された。

同大会は，仙台市が国際化推進と陸上競技レベルの向上を目的に平成３年より実施し，国内外の一流選手を招待して行われる東北唯一の本格的ロードレースでもある。

当社は，地域におけるスポーツを通じた国際交流の支援，地域のスポーツ振興，企業イメージ・認知度の向上に寄与する観点から第１回大会から協賛している。

当日は，宮城陸上競技場を正午ちょうどにスタートし，日本陸連公認の21.0975kmのコースで，男女各12名の外国招待選手を含む男子278名，女子41名が健脚を競った。当社からも大曲技



第2回 東北電力企業グループ 地球環境セミナー開催

３月１日，２日の両日，仙台市内において第２回東北電力企業グループ地球環境セミナーが㈱電力ライフ・クリエイトの企画運営により開催された。

東北電力企業グループでは，「東北電力地球環境行動指針（平成４年７月策定）」，「東北電力地球環境行動計画（平成５年１月策定）」に基づき，社会の一員として市民レベルの環境保全活動やオフィスでのリサイクル運動など，身近なところから地球にやさしい企業活動の永続的な取り組みをはかることとしている。

講演会では，㈱日立製作所環境本部地球環境推進センター長の福島哲郎氏が「最近の環境問題の動向と日立の対応について」，東北通商産業局商工部公害保安課長の梁川功氏が「地球環境問題について」，㈶電力中央研究所生物部陸生生物研究室長の河野吉久氏が「酸性雨の植物影響調査について」と題してそれぞれ講演を行った。

また，講演に引き続き行われた意見交換では，当社地球環境対策推進会議事務局がコーディネーターとなり，参加者約100名が地球環境問題の取り組みをテーマに話し合い，企業緑化について提案が出されるなど，活発な意見交換の場となった。



マラソン大会 大きな拍手!!

術センターの伊藤由春さん（83位）をはじめ，社員12名が出場した。

また，同日，㈱電力ライフ・クリエイトのビジネスサポート・サービスを通じて福島・山形を除く東北５県の県民1,000名を対象に行われた意識調査によると，回答数730件中65.3%が当社協賛を「良いこと」と認識しており，当社企業イメージの向上にも大いに結びついた。

第1回全社親善スキー大会

大回転／回転／近藤（新潟）・伊藤（山形）が制す

２月27日，山形県蔵王坊平スキー場において，「第１回全社親善スキー大会」が開催され，応援を含めた約120名の参加の下，大回転，回転のアルペン競技に熱戦が繰り広げられた。

同大会は，スキー愛好者の技能の向上と親睦を目的に昭和48年以来20年ぶりに自主大会として再開された。

当日は晴天に恵まれ，雄大な蔵王連峰をバックに，ハイレベルな戦いとなった。

試合の結果，大回転の部は新潟代表の近藤等さん，回転の部は地元山形代表の伊藤裕幸さんがそれぞれ優勝した。また，大回転，回転合わせた団体の部では宮城チームが優勝を飾った。

なお，来年は岩手県高原スキー場において開催の予定としている。

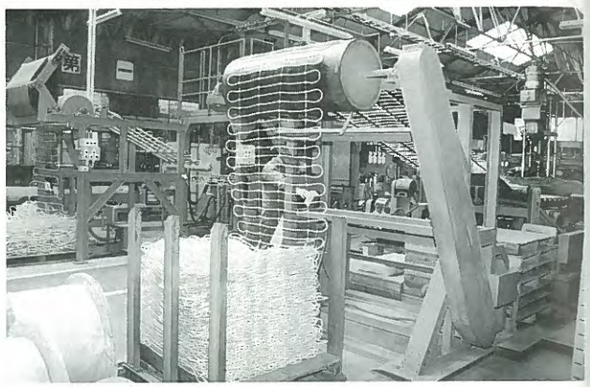


GROUP ウオッチング VOL. ③

北日本電線株式会社



社名の北と日をデザインしたもの


◀ロードヒータを自動で編みあげる

今回訪問した北日本電線株式会社の入口には，同社が誇る数々の電線の模型が展示してあった。ご家庭のすみずみまで電気や情報を届ける大切な電線の数々である。

同社は，昭和21年に設立され，主に配電用電線の製造を中心に行うほか，通信ケーブル，電熱システム，産業機器・精密加工と現在まで業務分野を拡大している。また，電気自動車「ＭＹＬＤ」，「ＷＡＶＥ」の開発を当社と共同で行うなど，技術力を生かし多方面にわたり事業を展開している。

「昭和49年に宮城県の柴田町に船岡工場を建設し，現在は，本社は電熱，船岡工場は電線，鈎取工場は産業機器をそれぞれ製造しています」と今回，案内をしてくれた曽根企画課長が話してくれた。

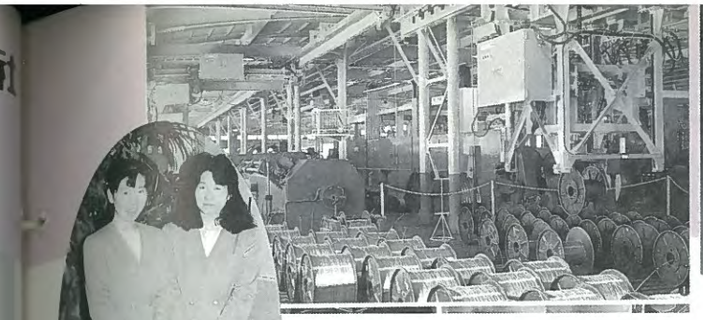
同社の中心業務となる電線事業部門は，大きく電力線と情報通信線の２つに分かれている。電力線は，社会を支える電気エネルギーを安全・確実に供給するためには欠かせないもの。

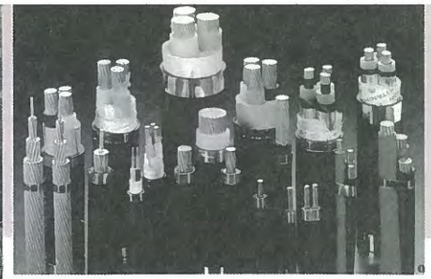
〈企業概要〉

●設　　立	昭和21年７月
●代 表 者	取締役社長　櫻井　俊平
●従業員数	500名（男性440名、女性60名）
●事業内容	・電線、ケーブルの製造および販売 ・上記電線付属品の製造および販売 ・無停電工法機材の開発・製造および販売 ・ケーブル絶縁劣化診断および機材定期点検業務 ・電熱製品およびシステムの設計・施工 ・産業機器、精密加工品
●事 業 所	（支　社）東京、札幌 （事業所）船岡、鈎取 （営業所）青森、盛岡、秋田、山形、郡山、新潟
●関係会社	２社

それだけに高い信頼性と安定した供給力が要求される。「一昔前までは，雪，特に日本海側の湿った雪が降ると電線が切れて停電になることがありました。今では，もうそんなことはありませんが」と懐かしそうに振り返る。そこで，東北の雪に対応した電線をと考えて当社との共同研究により生まれたのが難着雪電線。その名前のとおり，雪が付きにくい電線の開発に成功した。今では，当社管内のほとんどにおいて採用されている。また，海沿いの地域に対応した塩害に強い電線の開発なども行っており，地域のニーズに合わせた製品づくりに努めている。

また，当社管内に付設された配電線の信頼性が低下していないかどうか確認するために，ケーブル絶縁劣化診断や無停電工法の機材の定期点検業務を行っている。「現在は，無停電工法など電気を止めないで工事をするようになってきています。それだけに，機材の信頼性を高めていくこと，そして維持することが大切になっているのです」と曽根課長。


▲製造設備の自動化も進んでいる


▲同社の誇る電線の数々


◀女子社員の制服。
平成３年10月から現在のものになった。モデルは労務課斉真由美さんと総務課大内理恵さん（右）

電線事業部門のもう一方を支えるのは，情報通信線。企業からご家庭のすみずみまで大量の情報を伝えるのに欠かせないものである。情報の高度化に対応して，最先端の技術開発が要求される分野でもある。「以前に，銀行のオンラインシステムが動かなくなり大きな社会問題になったことがありました。情報通信線は社会生活とより密着しており，現代社会の血管のようなものだと思います」最近は，光ファイバーケーブルをはじめとし，先端技術指向が強くなってきているという。

上を向いて歩こう

雪を克服するために同社が開発した商品がいくつかある。道路や駐車場の雪を自動的に融雪するロードヒーティングシステムもその一つ。ロードヒーティングシステムは，現在，一般舗道や仙台駅前のペデストリアンデッキなどに採用されている。また，スパイクタイヤの使用禁止に伴って，より冬道での安全が要求されることから，一般車道への敷設も普及拡大してきている。また，電柱の支線を積もった雪の圧力から守るため，地中の温度は約10℃前後あることに着目し，地熱を利用して自動的に融雪する『電柱支線融雪用ヒートパイプ』を開発した。「これを開発する以前は，支線の回りに積もった雪を人の手で払っていたのです。大変な労力がかかっていたんですよ」このヒートパイプを応用して，トランスの上に積もった雪の融雪にも活用している。電線が気になるため，ついつい上を見て歩くことから生まれたアイディアだそうだ。

代替え品もリサイクルで

同社は，製造部門において資源のリサイクルに積極的に取り組んでいる。電線クズを配電線へ再生加工したり木製ドラムを回収し，再生使用を行っている。「現在，木製ドラムに代わって鉄製ドラムの試験運用を行い，回収状況などを検証しています。鉄製ドラムは，寿命が長いので，上手に活用する方法について検討しています」。また，接地線の保護に使用する木製のカバーも，廃プラスチックをリサイクルしたアースモールとして製品化に成功し，活用を開始しており，地球にやさしく，なおかつ資源の有効活用を行うことを目指している。

明るい電気を運びます

平成５年度は，営業力を強化するとともに，お客さまのニーズにいつでも対応できる商品の研究開発や技術力の蓄積拡大を図っていくこととしている。「製造業にとっては，まだまだ厳しい時代になると思いますが，このような時代にこそいろいろな課題に果敢に取り組んでいきたいと考えています。当社の電線は，明るい電気を運ぶものですから」と今後の抱負を語ってくれた。

同社では，善意と信頼と協力を企業のモットーに，情報化社会を支えるべく日々頑張っている。

TOPICS

放送開始 伊東四朗のOH!千客萬来

■宮城テレビをキー局とした 東北７県ネットの新番組について

平成元年４月から放送を始めた『白い国紀行』は今年３月末をもって終了することになり，４月から新番組を提供することといたしました。

広報部広報課



宮城テレビのスタジオでの番組収録シーン

番組形式 料理&トーク/30分番組

番組内容

東北地方の風土，気質，生活様式などから生まれたその地域ならではの料理を求めて番組リポーターが東北各地（新潟も含む）を訪ね歩き，その地の生活，風土，人柄などを折り込みながら「料理」を紹介します。

この番組は，こうした東北の「食」（その地の生活，風土，人柄を含む）を切り口としたトーク番組で，パーソナリティの伊東四朗さんがスタジオにゲストを迎え，その日紹介する料理に舌鼓を打ちながら，例えば東北固有の食文化やゲストのもつ「食」観念との食文化比較に触れたり，ゲストと東北の出会い，ふれあい，東北に対する思い，ゲストのもつ人生観・職業観などについて楽しく語り合い，『外から見た東北，東北と接して見た時の東北』という客観的な東北像を描く『東北再発見』をねらいとした番組です。

番組の特色

トーク番組は類似番組が多いことから，本番組の個性を強く打ち出すため，以下の特色をもたせることとしています。

- 東北の「食」を切り口にしたトーク番組。
- 伊東四朗さんをマスター役にしたレストラン「千客萬来亭」を舞台に繰り広げるドラマ風トーク番組。
- ゲストはレストランの客という設定で，演技ではなく素顔（本人の地）で登場する。
- 番組のパターン化を避けるため，ゲストは芸能人だけでなく作家やスポーツ選手も含め幅広い分野から選択することとし，単なる芸能バラエティ番組色を払拭（ふっしょく）する。
- 「東北（新潟を含む）」に対する視点を常にもった番組とする。

放送局 ならびに 放送時間

青森テレビ
毎週土曜日
10:00～10:30

テレビ岩手
毎週土曜日
9:30～10:00

秋田放送
毎週土曜日
10:30～11:00

宮城テレビ
毎週土曜日
9:30～10:00

山形放送
毎週土曜日
9:30～10:00

福島中央テレビ
毎週土曜日
9:30～10:00

テレビ新潟
毎週土曜日
10:00～10:30

ゲストなど詳しくは，掲示板のページをご覧ください。



みなさん ぜひ、ご覧 ください。

伊東四朗さん（写真中央）とリポーターのお二人

掲示板

平成5年 年間標語墨書 優秀作品決定

平成5年年間標語墨書「夢を力に、逞しい歩みを　明日への高い理想を掲げ」の墨書募集について、全店より47点の応募があり、審査の結果、優秀作品11点が選ばれました。



第一席　伊藤玲子さんの作品

第一席	新潟営業所	総務課	伊藤　玲子
第二席	福島支店	電力部	星　晴生
〃	新潟支店	電力部	佐々木是夫

佳　作　8点

名曲の夕べ ～平成5年度上期～

1．日程および会場
- 平成5年5月13日(木)　黒石市民文化会館（青森県黒石市）
  14日(金)　遠野市民センター（岩手県遠野市）
- 17：30開場　18：30開演

2．出　演
- 指　揮　梅田　俊明
- 演　奏　仙台フィルハーモニー管弦楽団

3．演奏曲目　（今回はバレエ音楽でまとめています）

(1)ヨハン・シュトラウス　歌　劇「こうもり」序曲
ポルカ「クラップフェンの森で」
ワルツ「春の声」
ポルカ「観光列車」
ヨーゼフ・シュトラウス　ワルツ「天体の音楽」
ポルカ「おしゃべりなかわいい口」
ヨハン・シュトラウス　ワルツ「美しく青きドナウ」

(2)チャイコフスキー　「胡桃割り人形」より
1．行進曲　2．こんぺい糖の精の踊り　3．トレパーク
4．あし笛のワルツ　5．花のワルツ

(3)チャイコフスキー　「白鳥の湖」より
1．情景　2．4羽の白鳥の踊り　3．ハンガリーの踊り
4．スペインの踊り　5．ナポリの踊り　6．終曲

ボランティア活動の募集

平成5年度上期のボランティア活動を募集しますので，希望者は下記により申込みください。

1．ボランティアの対象となる活動
(1)国際協力事業団の募集する青年海外協力隊への参加
(2)国または地方公共団体の指定する社会福祉機関などでの福祉活動
（具体的には，老人福祉施設，身体障害者更生援護会施設，児童福祉施設などでの活動）

2．応募対象者
勤続3年以上の社員（出向者を除く）ならびに職員（出向者および建設職員を除く）で，ボランティア活動終了後復職の意思のある者とする。

(1)協力隊
a．技　術　任務の遂行に必要な基礎的技術を有する者
b．語学力　英語の基礎能力（中学校卒業程度）を有する者
c．その他　年齢・赴任条件など上記以外の資格について，協力隊の募集要領を満たす者

(2)福祉活動
a．活動機関　応募時で，現在の居所から通える範囲にあること
b．その他　活動機関で必要とされる資格などを満たす者

3．応募手続き
希望者は，「ボランティア活動申請書」（協力隊の場合は，協力隊所定の願書の写を添付）を4月30日(金)までに所属する機関の長（本店は室部長）を経由し，主管個所（協力隊は人材開発部，福祉活動は労務部）に提出してください。
なお，「ボランティア活動申請書」は各店所の労務担当個所に備えてあります。

4．選考
希望者が多数の場合は，選考のうえ，その結果を本人および所属する機関の長に通知します。

5．活動期間中の服務取扱い
(1)活動期間
a．協力隊へ参加する場合は，2年4か月以内で必要とされる期間
b．福祉活動に従事する場合は，1年以内で本人が希望する期間（1か月単位）
(2)活動期間中の服務取扱いは「休職」（有給）とします。

なお，その他の取扱いについては，「ボランティア休職取扱基準」を参照してください。

夢見る子供童話賞 講談社より発売

創立40周年記念として昨年広く一般から募集し，決定した「夢見る子供童話賞」の大賞2編が製本化され，3月23日講談社から発売されました。

絵本部門
「ウサギの畑」　定価¥1,200

児童文学部門
「満月，満月，そっこ抜け！」定価¥1,100





全国の書店でお求めいただけます。

第43回河北杯争奪

宮城県バスケットボール競技大会結果報告

当社男女アベック優勝!!

1．期　　日
　平成5年3月6日，7日，13日，14日
2．場　　所
　仙台市体育館，宮城県スポーツセンター
3．結　　果
　(女　子)
　優　勝　東北電力
　決　勝　東北電力　77対71　東北学院大学
　準決勝　東北電力　78対30　宮城教員
　(男　子)
　優　勝　東北電力宮城
　決　勝　東北電力　86対74　東北クラブ
　準決勝　東北電力　78対75　東北学院大学

特別強化種目サッカー部

第16回全国地域リーグ
(J2リーグ入れ替え戦)結果報告

1．期　　日
　平成5年3月6日
2．場　　所
　静岡県浜松遠州難海浜公園グランド
3．結　　果
　東北電力　1対2　PJMフューチャーズ
　(静岡県)

この結果，残念ながら今回J2リーグ入りは果たせませんでした。

当社コーポレートソング CDシングルで発売！

忍者　¥1000
A面「日本」
B面「瞳は未来を映してる」

谷川理恵　¥800
A面「夜来香(イエライシャン)」
B面「君は風の中に」

いずれもCDジャケットに「東北電力コーポレート・ソング」の文字が入っています。

当社が提供するテレビ・ラジオ番組

新サンデー・トーク
ごきげんよう草柳です

○4月・5月の予定○

4月11日「無気力な子供たち」
　深谷　昌志(静岡大学教授)
4月18日「ロシアの現実」
　寺谷　弘壬(青山学院大学教授)
4月25日「サイズを無視した人間」
　本川　達雄(東京工大教授)
5月2日「積極的休養のすすめ」
　関谷　透(関谷クリニック院長)
5月9日「力士育成のコツ」
　田中　英寿(日本相撲部監督)

毎週日曜日

青森放送	午後	12：00～12：30
岩手放送	午前	10：00～10：30
秋田テレビ	午前	10：00～10：30
仙台放送	午前	10：00～10：30
山形放送	午前	10：00～10：30
福島テレビ	午前	10：00～10：30
新潟放送	午前	10：00～10：30

伊東四朗のOH!千客萬来

○ゲスト○

4月3日　梅宮　辰夫
4月10日　三枝　成彰
4月17日　小野　みゆき
4月24日　ケント・ギルバート
5月1日　芳村　真理
5月8日　松居　直美

毎週土曜日

青森テレビ	午前	10：00～10：30
テレビ岩手	午前	9：30～10：00
秋田放送	午前	10：30～11：00
宮城テレビ	午前	9：30～10：00
山形放送	午前	9：30～10：00
福島中央テレビ	午前	9：30～10：00
テレビ新潟	午前	10：00～10：30

ファミリーサイエンス

毎週金曜日

青森朝日放送	午後	5：15～5：30
秋田朝日放送	午後	5：15～5：30
東日本放送	午後	6：45～7：00
福島放送	午後	5：15～5：30
新潟テレビ21	午後	5：15～5：30

あなたとアフタヌーン
沢田聖子のWITH YOUR LIFE

毎週土曜日

エフエム青森	午後	12：00～12：30
エフエム岩手	午後	12：00～12：30
エフエム秋田	午後	12：00～12：30
エフエム仙台	午後	12：00～12：30
エフエム山形	午後	12：00～12：30
エフエムラジオ新潟	午後	12：30～1：00

黒崎昭二のシャンソンをあなたに

毎週土曜日

エフエム秋田　午後　7：00～7：55

草柳文恵のお元気ですか

毎週月曜日→金曜日・5分番組

青森放送	午前	10：10～10：15
岩手放送	午前	9：45～9：50
秋田放送	午前	9：25～9：30
東北放送	午前	9：50～9：55
山形放送	午前	11：45～11：50
ラジオ福島	午前	10：45～10：50
新潟放送	午前	10：45～10：45

決定！社誌ニックネーム

1月から2月にかけて募集していました社誌のニックネームにたくさんのご応募をいただきまして大変ありがとうございました。

2月末までに寄せられました108件の中から「Bridge（ブリッジ）」というニックネームを選ばせていただきました。

この「Bridge」というニックネームは、入社3年目の女性社員の方が、社誌が社員同志の「かけ橋」として、あるいはお客さまと社員の間の「かけ橋」となるような情報を社員に伝えてくれる冊子になればという願いを込めて名付けてくれたものです。

Bridge

ニックネームの文字処理は手書きにして親しみやすさを表しました。色は表紙の写真によって毎月変えていく予定です。



毎月みなさんのお手元に届くこの社誌が、これまで以上にみなさんの有効な情報源となるよう努力してまいります。ぜひ、みなさんの声を広報部社誌担当あてにお寄せくださいますようお願いします。

長い間ありがとうございました



平成5年4月
定年退職者の方のご紹介
（敬称略）

1．入社年月日
[redacted]
3．在職中の思い出
4．退職後の過ごし方



火力部付
酒田共同火力発電株式会社出向
渡部幸治郎
❶昭和27年3月31日
[redacted]

❸ 塩害や酒田大火の時，不眠不休の復旧作業に先輩や同僚と従事したこと。41年間すべてが懐かしい思い出です。
❹ まず健康で，後ろで支えてくれた家族や地域のみなさんとのふれあいを大事に，若さを失わないで過ごしていきたい。

監査役室付
東北緑化環境保全株式会社出向
尾崎　祐輔
❶昭和31年4月1日
[redacted]

❸ 人材育成業務に携わり，研修生や社外講師の方々との出会いで啓発されたことが多く，貴重な体験をすることができたこと。
❹ 当分の間，故郷（上越市）へ帰り，老母の世話をしたり，知人，友人との旧交を温めたいと思っています。





情報通信部　情報通信計画課付
通研電気工業株式会社出向
清水　菊男
❶昭和27年5月1日
[redacted]

❸ 交換機担当時，2年目までは無我夢中で，3年目の石巻営業所工事でやっと自分のペースで仕事ができるようになったこと。
❹ 自分にできるボランティアをしたり，読みたいと思って買っていた本をじっくりと読んでみたい。

情報通信部付
株式会社ユアテック出向
及川　信
❶昭和27年5月6日
[redacted]

❸ 職場，スポーツ，単身生活などを通じ，多くの方々よりご指導やご懇情をいただき，辛苦の中にも楽しく仕事ができたこと。
❹ 健康に気をつけ，地域のための奉仕活動や家族とともに旅行，趣味などを行い，悔いの残らない活気ある生活を送りたい。

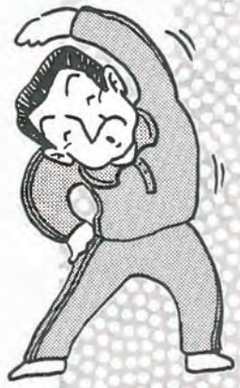




青森支店付
株式会社ユアテック出向
安田　和之
❶昭和28年8月24日
[redacted]

❸ 多くの良き上司，先輩，同僚に支えられてきたこと。また地域の多くの方々とふれあいができたこと。
❹ 人生メドレーリレー。残りのおあずかりした区間（人生）を精いっぱい走り，次の走者にタスキを渡したい。

これからもガンバッテください





盛岡営業所
配電技術課技術一係
中島　杲
❶昭和30年3月12日
[redacted]

❸ 第2室戸台風で不眠不休の復旧作業に従事したこと。ほかに数々の災害復旧に従事したこと。
❹ できるだけ趣味をたくさん持って，第二の人生を楽しく過ごしていきたいと思っております。

秋田営業所
配電計画課工事係
米塚　武
❶昭和32年3月1日
[redacted]

❸ 各職場で良き上司，同僚，後輩に恵まれて過ごした日々がすべて懐かしく良き思い出となっています。
❹ 健康第一に努め，第二の人生は，囲碁の上段の取得に挑戦し，有意義に過ごして参りたいと思っています。





仙台営業所配電計画課付
株式会社電力ライフ・クリエイト出向
鎌田　守次
❶昭和30年1月17日
[redacted]

❸ 職場で良き上司，先輩，後輩に支えられ楽しく仕事ができたことが一番の思い出です。
❹ 今後は家族ともども健康に十分注意し，地域社会に貢献しながら，ゆとりある生活を送りたい。



鶴岡営業所付
財団法人東北電気保安協会出向
中澤　俊治
❶昭和30年12月25日
[redacted]

❸ 水車を起動したら逆回転した夢を見たり，電話のベルにドキリとしたりの37年間すべてが良き思い出です。
❹ 今冬70歳の義兄のお相手で，スキーに行きましたが，義兄の若々しい気力と体力を目標に，頑張りたいと思います。



福島支店総務部付
相馬共同火力発電株式会社出向
八木橋　孝
❶昭和28年10月1日
[redacted]

❸ 昭和28，29年ごろ，東北電力長年の念願であった只見川水力発電所建設工事に従事できたこと。
❹ 今までは地域の方との交流が少なかったと思う。退職後は趣味を生かし地域の諸活動に役立つことをしたい。



三条営業所　料金課料金係
南摩　弘子
❶昭和27年4月1日
[redacted]

❸ 41年間の長いマラソンコースで，ラストスパートに日地割再編成本格移行という最大の山場を乗り越えたこと。
❹ 体調を整え，今までできなかったことの中から短距離でも有意義だと思われる目標をただいま探しています。

FREE TALKING

気ままにおしゃべり

4月

魚を知らない日本人



この間，埼玉に住んでいる姉に「メヌケ」を送ったところ，「何ていう名前の魚？」と電話してきた。

このごろの日本人は魚を食べなくなったと聞くが，魚の名前までわからないとは情けない。確かに，スーパーマーケットで売られている魚は，切り身や加工品が多いが，自分が食べてる魚の名前くらい知るべきである。そんなことだから，子供に魚を食べさせなくなり，骨の弱い子供になってしまうのだ。

先日，テレビで「マグロの目の奥の部分に頭が良くなる物質がある」と放送していた。日本人の頭の良さは，魚を良く食べていたからなのである。

魚を食べなくなった日本人の頭が悪くなるのは当然である。もっと魚を食べなくてはと思う今日このごろである。

（パパちゃん）

他山の石

最近，運転免許の更新手続きのため免許センターに行った。適性検査係の方の対応（あえて性別は不問）が，こちらから話すことに対し，最初から最後まで「ウン！ウー！」で終わった。いくら扱う量が多いとはいえ，これでも給料をもらっているのかと思うとウンザリした。

これから転居シーズンで営業所に勤務する方は膨大な量の全廃・再新などの受け付けをすることとなる。どんな小さな事でも親身になって応対したいものである。（本店「他山の石」）



カンペキな朝型人間

朝４時。私の起床時間である。もちろん目覚まし時計のお世話にはならない。正確無比のわが胎内時計。就寝時刻も決まって夜10時。睡眠時間は６時間の熟睡直下型，寝つきもよいが，目覚めもよい。シャワー，読書，新聞，炊事，食事，ハミガキ，歩いての出勤。これが私の朝の始まり。朝には強いが，夜は全く弱い。酒を飲むと眠くなる。朝型人間ではなく「年齢」によるものなのかも知れない。私は現在，単身赴任。（山ヤさん）

辞令のはなし



社員なら誰でも１枚はもらったことのある「辞令」。

みなさんは入社以来の辞令をどうなさってますか。私はサラリーの明細書と一緒に全部大事にとってあります。仕事で名を残せぬとなれば，サラリーマンとしての自分の存在証明は辞令をたどるくらいしかないと思うからです。だから，昔の辞令はなくしてしまったという話を聞くとびっくりしてしまいます。新入社員が配属されたので，どれ辞令を見せて，と言ったところ，背広のポケットから四つ折りにした辞令を見せたので思わずしかってしまったこともあります。同業他社では廃止の動きもあるそうですが，当社の辞令も手書きから機械となってありがたみと重みが薄れてきた気もします。

私も初めての異動であちこちあいさつをしているうちに，汗ばむ手で持ち回った上に，背広のポケットに入れてさっそくの歓迎会に出席したところ，上司の手荒な歓迎にあって，辞令がクシャクシャになった経験があります。同じような経験をした人がいるに違いありません。

新入社員のみなさん，辞令は大事に扱ってください。

（サウンド オブ サイレンス）

足のしびれと茶のこころ

お茶を本格的に習い始めてから５年になります。最初はマナー習得程度のつもりが，女性に混じって恥ずかしながら，足のしびれも我慢して，けいこに励んできました。

先生に「女性が茶道を始めたのは明治以降で，それ以前はすべて男性ばかり」の言葉に励まされ，何とか茶道の原点であるワビ，サビが分かりかけてきた気がします。しかしながら，茶道を通じて日本文化の奥の深さを改めて感じております。

（エレキ猫）

栄養と教養は外でとれ!!

関係会社に出向して３年，時間の大切さを痛感しています。一番町を往復すること日に数度，靴は本当に減るものだ。

テレビ電話と動く舗道の夢を見る。栄養と教養は外で取れと言いますが，とにかく，一生懸命の３年間，アッという間に過ぎたのは大変幸せでした。ヨーシ，帰ったらまた頑張るぞ!!

（佐渡守順市）

天空の城

私の職場は，当社で１，２の高い場所にある〝ダム〟である。宿直のためそこに行き夜を迎えると，もう「やみ」の世界。１m先も見えないほどである。そんな所を私は天空の城と呼び，自己満足に浸っている。

みなさん，一度遊びにきませんか？　（ドラクエおたく）

編集者へ 読者の声

２月号特集「ルポ・原子力立地の第一線は今」について

▶各地で苦労しながら，地域社会に溶け込む活動が紹介された。この活動は，これからはもっと重要なこととなるので，考えさせられた。

（山形：男：24歳）

▶電源立地関係の事業所を一挙に紹介したことは，今までになかったように思う。非常に簡潔にわかりやすく書いてあり理解できた。しかし，内容的に「いい所」だけを主としているが，現実としては，表現が難しい苦労がたくさんあると思われる。できれば，その苦労もできるだけ文章化し，全員に知らせてもよいのではないか。

（宮城：男：48歳）

ＣＭ制作の現場から

▶ついこの前までダサイＣＭが続いていましたが，最近とっても良くなったと思っています。東北のリーディングカンパニーとして，洗練されたＣＭを願ってやみません。ＣＭは企業の顔なのですから。

（青森：男：40歳）

▶ＴＶ世代が社員の，また世の中の大勢を占めるご時世。特にＴＶＣＭに関する社内外の関心は相当高いものがあると思います。社員が気に入っているＣＭ，上手だなぁと思っているＣＭをアンケートし，年代別に集約・分析してみると，ＣＭのトレンドが見えてくるような気がします。

（宮城：男：31歳）

全体について

▶今回はほめておきますが，次回からはびしびし〝おしかり〟しますのでよろしく。

（山形：男：20歳）

▶来月号も見なくてはというような連載ものの小説などもどうかな？

（秋田：男：25歳）

▶「なぜ社誌にインパクトが無いか」というと，すべての文章が前向き（あるいは当たりさわりのないもの）であるせいだと思う。社会にしろ，会社にしろ，社員にしろ，いろいろと問題はあるわけで，それぞれに対してもう少し攻撃的であってもいいと感じる。

（福島：男：28歳）



編集後記

今月特集した原子燃料サイクル施設の取材で六ケ所村に行き，以前一緒に仕事をさせていただいた先輩たちにお会いした。「おうっ。何しに来てらっけ」と，言葉は悪いが，その声としぐさは昔と変わらぬ懐かしいものだった。

再処理工場で処理され取り出されるウランやプルトニウムは，貴重な準国産のエネルギーであり，平和利用をしていくことは言うに及ばない。世界的にも注目されているこの大きな事業にさまざまな分野の人たちが力を合わせている様子が取材を通して伝わってきた。

やがて尾駮沼の水鳥たちのさえずりが緑を芽吹かせ，六ケ所村にも春を告げる。現地のみなさん，これからが正念場です。頑張ってください。（S）

先日，『日本人の質問』という番組を見た。日ごろ不思議に思っていること，あまりに素朴なことなので，誰にも質問出来なかったことなどを一般視聴者から応募し，ゲストを交えて解明していくという内容だった。「切り身と刺し身はどう違うの？」とか，「紳士物の靴下にはどうして片一方だけに白い紙が入っているの？」など，何でもないようなことだけど，いざ聞かれると？と思ってしまう。

でも，こういうことって意外と日常生活の中で多いんじゃないかしら。会社の中も同じ。「なぜ，会社の車は黄色なの？」「８時30分から５時20分の就業時間はどうやって決まったの？」などなど，回りを見渡せばたくさんありそうな気がする。一度，特集してみようかな。題して『東北電力マンの質問～会社の不思議に迫る～』（M）

みなさんの声 TO EDITORS お待ちしています

下記のアンケートにおこたえください

お寄せいただいたご意見ご要望などを掲載させていただいた場合には，謝礼を差し上げます

●所属

●氏名　　●男・女　　●年齢

■今月号の中で興味を持った記事を三つ選んで，番号を○で囲んでください

1．グラビア　2．特集　3．経営方針　4．施設計画　5．マンスリーＮＥＷＳ
6．ＧＲＯＵＰウォッチング　7．トピックス　8．掲示板
9．社誌のニックネーム決定　10．定年退職者の方のご紹介　11．気ままにおしゃべり

■今月の特集「原子燃料サイクル施設」について，ご意見・ご感想をお聞かせください（○をつけてください）

●企画（よい・ふつう・わるい）
●内容（役に立つ・どちらともいえない・役に立たない）
●表現（わかりやすい・ふつう・むずかしい）
●レイアウト，色使い（よい・ふつう・わるい）

＜ご意見・ご感想をお聞かせください＞

■「ＧＲＯＵＰウォッチング」について

（○をつけてください）

●企画（よい・ふつう・わるい）

●内容（興味深い・ふつう・つまらない）

●表現（わかりやすい・ふつう・むずかしい）

●レイアウト，色使い（よい・ふつう・わるい）

＜ご意見・ご感想をお聞かせください＞

■社誌に対するご意見，ご要望をお寄せください

全般的な内容について，今後取り上げてほしいテーマ，おもしろい企画・アイデアなど何でも結構です

■「気ままにおしゃべり FREE TALKING」に原稿をお寄せください

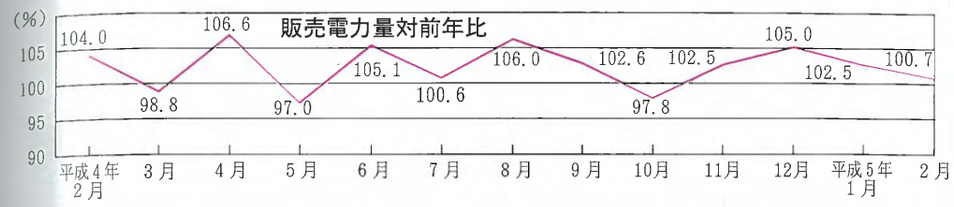
（テーマは設定していませんので，自由にご寄稿ください）

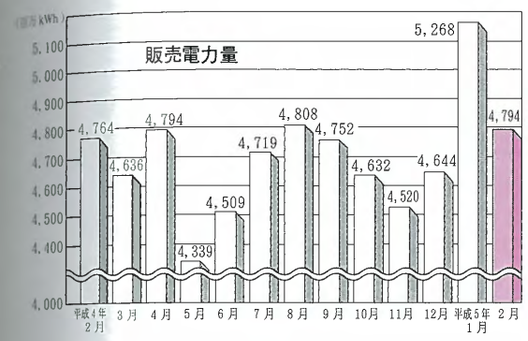
題名（内容に合わせたタイトル）　　ペンネーム

■あてさき　　広報部広報課　社誌担当宛

平成5年2月電力需給実績

販売電力量は全体で0.7%の伸びにとどまる





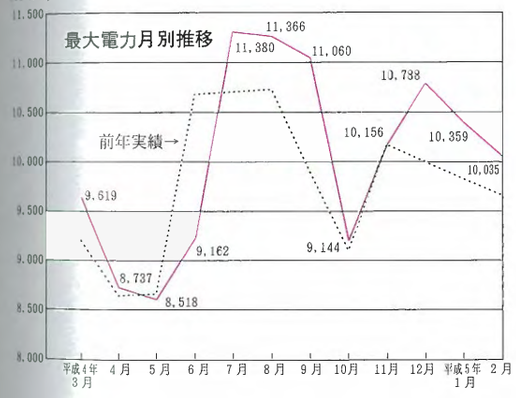
用途別内訳（百万kWh）　（　）内は構成比

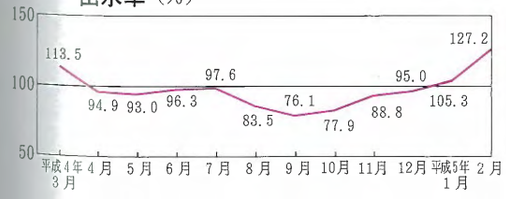
大口	電灯	小口	業務用	その他	合計
1,520 (31.7)	1,520 (31.7)	816 (17.0)	790 (16.5)	148 (3.1)	4,794

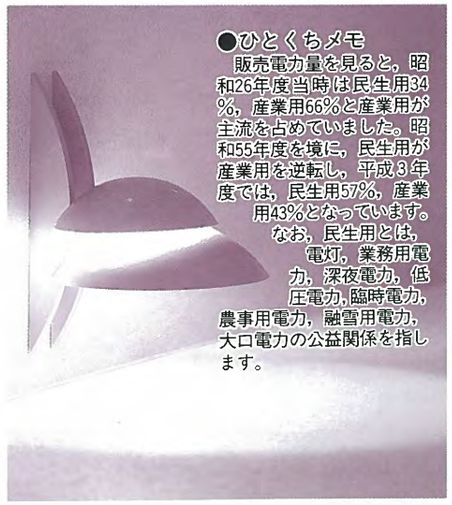
エネルギー別発受電電力量（百万kWh）

（　）内は構成比

	水力	火力	原子力	合計
5年2月	938 (18.1)	3,389 (65.5)	851 (16.4)	5,178







●ひとくちメモ

販売電力量を見ると，昭和26年度当時は民生用34%，産業用66%と産業用が主流を占めていました。昭和55年度を境に，民生用が産業用を逆転し，平成3年度では，民生用57%，産業用43%となっています。

なお，民生用とは，電灯，業務用電力，深夜電力，低圧電力，臨時電力，農事用電力，融雪用電力，大口電力の公益関係を指します。

SHORT ショート

STORY

1億6000万人の夢航路



1988年3月13日午後5時14分、
この青森桟橋から青函連絡線の最終便「八甲田丸」が出航しました。
明治41年以来、途切れることなく
出会いや別れなど、幾多のドラマを生みながら
本州と北海道を結び続けてきた80年。
この間運んだ人の数が1億6000万人、
運航距離も地球2000周分に及んでいます。
その歴史は本州と北海道を連絡するだけでなく
それぞれの人たちの夢や希望を
未来へつなぐ役割を担ってきたともいえるでしょう。
あれから5年、その役割を青函トンネルに譲ってはいますが、
人々の心に描かれた未来への航路を、
これからもきっと見守り続けてくれることでしょう。